竹繊維食器の開発

二酸化炭素排出量の低減に資する竹繊維食器の開発・製造に取り組む企業

大阪府大阪市の株式会社岩本金属製作所（従業員8名、資本金1,000万円）は、学校給食用食器等を開発・製造する企業である。

同社は、「本業の技術を活かして、環境改善や地域社会に貢献したい。」という岩本和倫社長の考えから、放置竹林を有効活用して竹繊維食器を開発した。当初は、成型に苦労したが、トウモロコシ由来のポリ乳酸を接着剤として添加することで成功した。この製品は、植物由来の原材料を使用することから、カーボンニュートラル（排出される二酸化炭素の量を吸収される二酸化炭素の量で相殺できる）であるため、二酸化炭素排出量の削減につながる。原料の採取から製品の廃棄までの二酸化炭素排出量を数値化するライフサイクルアセスメント（LCA）によると、ポリカーボネート（プラスチックの一種）を原料とする場合と比較して、約65%の二酸化炭素排出量が削減できることになる。

現在、放置竹林対策を行う福岡県八女市立花町から竹材を調達しており、同町の小中学校8校への納入実績がある。全国の地方公共団体からの注目も集まっており、導入に関する相談も増えている。

同社の岩本社長は、「学校給食用食器の製造に長年携わってきており、児童の環境教育の役に立てれば嬉しい。地域社会への貢献にもつながるので、全国の学校へ竹繊維食器を広めたい。」と話し、二酸化炭素排出量の低減に資する竹繊維食器の普及に力を入れている。

二酸化炭素排出量の低減に資する
竹繊維食器